

2010年の千葉県内外国人延べ宿泊者数は、 212万人と北海道を抜いて全国第3位に躍進

国土交通省が2011年3月に発表した「宿泊旅行統計調査報告」によれば、10年の千葉県の外国人延べ宿泊者数は、09年比約50万人増えて212万人（09年比：30.4%増）となり、北海道を抜いて全国第3位になった（07～09年はいずれも全国第4位）。県内外国人延べ宿泊者の国別シェアでは、トップは中国の26.8%で、次いでアメリカ（15.5%）、台湾（12.7%）の順となっている。

—10年の千葉県の延べ宿泊者数全体は、1,828万人と、東京都（4,353万人）、北海道（2,655万人）、大阪府（2,068万人）に次ぎ、4年連続全国第4位。

全国の外国人延べ宿泊者数は、07年から09年にかけて、リーマン・ショックの影響や新型インフルエンザの流行などによりビジネス客・観光客とも一時減少したが、千葉県は、成田空港や東京ディズニーリゾート、幕張メッセなど外国人の利用客が多く、集客性の高い施設周辺にホテルが立地していることから、ほぼ160万人前後で安定的に推移してきた。10年は、統計方法の変更（注）のほか、中国人観光客が経済成長に伴う所得増加や個人観光ビザの発給要件緩和などを受け、大幅に伸びたことから、全国・千葉県とも09年を大きく上回った。

（注）10年3月時点の調査までは従業者10人以上の宿泊施設が主に対象であったが、今回より従業者10人未満の宿泊施設も一部抽出され、集計の母数値が増えている。

—10年の県内外国人延べ宿泊者数を09年比でみると、中国人が22.7万人と急増（09年比67.4%増）している。次いで台湾人が7.1万人増加（同36.2%増）、韓国人が3.6万人増加（同78.2%増）、アメリカ人も2.5万人増加（同8.1%増）している。

県内のホテルでは、県内金融機関主催の「千葉県観光ビジネス商談会」を通じて、中国観光業者とのパイプが構築でき、多くの中国人観光客を呼び込むことに成功した例や、外国人宿泊者専門の営業担当の設置や中国語を話せる日本人スタッフの新規採用など、受入れ態勢づくりが始まっている。

こうした各宿泊施設等の営業努力に加え、成田空港年間発着枠30万回化に向けた動きや、東京湾アクアライン通行料金の値下げ継続、12年度予定の圏央道の部分開通（木更津東IC～東金IC・JCT、大栄JCT～千葉県境）による県内の交通利便性向上などで、千葉県の魅力が一段と高まるのを機会に、官民挙げて中長期的な外国人観光客の誘致戦略の練り直しをしてはどうか。（古川）

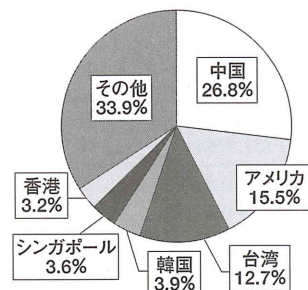
都道府県別外国人延べ宿泊者数の推移（上位10都道府県）

（単位：万人）

	07年		08年		09年		10年	
	全国	2,265	全国	2,225	全国	1,830	全国	2,614
1位	東京都	786	東京都	735	東京都	638	東京都	890
2位	大阪府	250	大阪府	257	大阪府	197	大阪府	322
3位	北海道	187	北海道	220	北海道	181	千葉県	212
4位	千葉県	166	千葉県	157	千葉県	162	北海道	211
5位	愛知県	103	愛知県	98	京都府	82	京都府	131
6位	京都府	97	京都府	95	愛知県	70	愛知県	104
7位	神奈川県	71	神奈川県	64	神奈川県	61	神奈川県	84
8位	福岡県	58	福岡県	53	山梨県	41	静岡県	60
9位	長崎県	45	兵庫県	46	福岡県	37	福岡県	59
10位	静岡県	45	静岡県	45	静岡県	37	山梨県	53

出所：国土交通省「宿泊旅行統計調査報告」

10年 県内外国人延べ宿泊者の
国別シェア



出所：国土交通省「宿泊旅行統計調査報告」を
もとに(株)ちばぎん総合研究所が作成